

# 文化財としてのモダニズム建築 傑作滅失の危機

両郵便局敷地を再開発して庁舎を高層化する計画が発表されました。今、文化的価値の高い両庁舎の行方が危惧されると同時に、これらを保存・活用して、よりよい環境創造を願う声が高まっています。



## 残せるか！——緊急シンポジウム第3弾 大阪・東京中央郵便局庁舎

日時：2007年10月12日〔金〕18:00 - 20:00

場所：大阪科学技術センター 404室 大阪市西区鞆本町1-8-4 TEL: 06-6443-5316

地下鉄四つ橋線〈本町〉28番出口より北へ徒歩3分 御堂筋線〈本町〉2番出口より西へ徒歩7分

申し込み：当日会場受付・先着100名様（事前申し込み不要）資料代：一般1,500円 学生500円

問い合わせ：nokoseruka.osaka@gmail.com TEL: 078-803-7806（神戸大学梅宮研究室）

パネリスト：

鈴木博之 東京大学大学院教授 DOCOMOMO Japan 代表

三村浩史 関西福祉大学教授・京都大学名誉教授

石田潤一郎 京都工芸繊維大学大学院教授

南一誠 芝浦工業大学教授

橋本健治 建築家 JIA近畿支部保存再生委員会委員長

コーディネーター：

足立裕司 神戸大学大学院教授

司会：梅宮弘光 神戸大学大学院准教授

主催：日本建築学会近畿支部

日本建築家協会（JIA）近畿支部

DOCOMOMO Japan

